



写真右:ナビル・シェハタ (コントラバス)
Nabil Shehata, contrabass

バレンボイムが絶賛、現在ミュンヘン音大教授、指揮者としても活躍

1980年にエジプト人とドイツ人の両親のもとクウェートで生まれ、4歳のとき家族と共にドイツに移住した。6歳でピアノを、9歳からコントラバスを始める。トーマス・チェルペ、文屋充徳、エスコ・ライネ氏に師事。2003年難関のミュンヘン国際コンクール・コントラバス部門で優勝、併せて聴衆賞受賞。同年、ダニエル・バレンボイムに招かれベルリン国立歌劇場管弦楽団の首席奏者に抜擢、翌2004年からはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に首席奏者として入団し2008年まで活躍。バイエルン放響、ベルリン・フィル、ウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団等とソリストとして共演。2007年よりミュンヘン音楽大学教授を務め、ヨーロッパ、イスラエル、日本などでマスタークラスも行う。ベルリン・フィル弦楽五重奏団のメンバーとしてヨーロッパ各地や日本でのツアーを行った他、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、エルサレム国際室内楽音楽祭、パース国際音楽祭、ザルツブルク・イースター音楽祭、また榎本大進氏が音楽監督を務めるル・ポン国際音楽祭などにも頻りに招かれている。また、指揮をダニエル・バレンボイム、ローレンス・フォスター、クリスティアン・ティーレマンらに師事し、2007年ドイツで指揮者としてデビュー。以降、シモン・ボリバル・ユース・オーケストラ、ベルリン放響、トゥールーズ・キャピトル国立管、カタール・フィル、マカオ・フィル、京響、大阪フィル、新日フィル等を指揮している。2011年よりミュンヘン室内歌劇場 (Kammeroper München) 音楽監督。ウェスト＝イースタン・ディヴァン管メンバーとしての活動にも力を注ぐなど、オーケストラ、室内楽、ソロ、指揮活動など多彩な活動を行っている。

写真左:カリム・シェハタ (ピアノ)
Karim Shehata, piano

クウェート生まれ。5歳よりドイツに移住。音楽教育者の家庭に育ち自然にピアノを始める。フェルデン音楽学校を卒業後、ハノーファー音楽演劇大学で学び、さらにブレーメン芸術大学大学院で研鑽を重ね多くの名演奏家の薫陶を受ける。近年は“レーガー・フォーラム” (ブレーメン)、“シューベルト・ピアノ・プロジェクト” (バイロイト) 等の音楽祭、現代音楽シリーズ“リアルタイム”、シュヴァンドルフ“ピアノの春”等のコンサート・シリーズに招かれており、実弟である気鋭のコントラバス奏者、ナビル・シェハタとのデュオ・リサイタルも度々行っている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業